

地域総がかりで行う不登校児童生徒支援事業

サポートスポット

地域 でつくる 不登校児童生徒支援の 新しいカタチ はじめます

サポートスポットって？

市町村が主体となり、地域の力を借りて運営する不登校児童生徒の居場所です。サポートスポットでは、子どもたちが自分のペースで安心して過ごせることを第一に考え、人とのつながりづくりや体験活動を通して、社会的自立を促すことを目的としています。

自由に過ごす



サポートスポットに来るだけ、そこに居るだけでもOK。自分のしたいことを自分のペースでします。

遊び・体験



活動場所や子ども達の実態に応じて、工作や調理、スポーツなどを取り入れた体験活動を行います。

学習・探求



自分のペースで学習に取り組んだり、自分の知りたいことや調べたいことについて探求したりします。

※ 地域の子どもは地域で育てるという考えのもと、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働しながら様々な活動を行う「地域学校協働活動」の仕組みを活用して運営します。



連携・協働



元教員・元保育士、民生委員・児童委員、社会教育委員、地域住民、PTA関係者、地域の子育て支援団体、NPO、子ども会関係者、地域の大学生 等

どこにあるの？

コミュニティセンター、公民館、隣保館、児童館、図書館、体育館、学童保育所、学校内の空き教室 等
※ 地域の中で子ども達が立ち寄りやすい場所に設置します。

いついけるの？

市町村や各サポートスポットで設定した日に開所します。開所日数や開所時間は、場所や支援体制の状況等に合わせて設定します。



サポ
スポ

【お問い合わせ】

- ① 所管の各教育事務所社会教育室（連絡先は右の二次元コードから）
- ② 福岡県教育庁教育振興部社会教育課 TEL 092-643-3887



「地域総がかりで行う不登校児童生徒支援事業」では、サポートスポットの設置のほかにもさまざまな取組を行います。

Check!

保護者の交流会・相談会

サポートスポットに通う児童生徒の保護者や不登校に悩む児童生徒の保護者を対象に、交流会・相談会を開催します。

同じ立場の保護者同士がつながって情報を共有したり、不登校経験のある若者やその親から、実体験に基づく話を聞いたりすることで、保護者の心理的な負担の軽減や孤立感の解消につなげていきます。



Check!

社会的自立心を伸ばすための体験活動（キャンプや日帰りイベント）

県立の青少年教育施設（社会教育総合センター・英彦山青年の家）において、サポートスポットに通う子ども達や不登校児童生徒を対象にキャンプや日帰りイベントを開催します。大自然のなかでの体験活動や仲間たちとの協働活動を通して、子ども達の社会的自立心を育みます。



Check!

不登校児童生徒を地域ぐるみで見守る仕組みづくりのための円卓会議

社会教育総合センターにおいて、不登校児童生徒支援を専門とした講師を招いての講話や、各地域で不登校児童生徒支援に関わる方々による意見交換会を行います。市町村の垣根を越えて、学校、福祉部局、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、NPO団体等の関係者に加えてサポートスポットのスタッフ等の地域住民が集まり、それぞれの立場で不登校児童生徒や保護者への支援の方法について熟議し、これからの支援の在り方について考えます。



Check!

スタッフ向け研修会の実施

各市町村所管の教育事務所において、不登校児童生徒支援に関わる方を対象に、スタッフの研修会を行います。臨床心理士、スクールカウンセラーなど、実際に不登校児童生徒と関わりがある方を講師に招き、運営スタッフが自信をもち、安心して子ども達と接することができるようサポートします。